

第 36 回ときめきスポーツ大会 大会要綱・実施要領

【陸 上 競 技】

【フライングディスク競技】

【卓 球 競 技】

【ボウリング競技】

開催日 平成 28 年 9 月 10 日（土）【雨天決行】

会 場 久留米総合スポーツセンター

陸上競技場・補助競技場

久留米市みづま総合体育館

ユーズボウル久留米

主 催 福岡県、福岡県教育委員会、（福）福岡県社会福祉協議会、
（公社）福岡県手をつなぐ育成会、福岡県知的障害者福祉協会、
福岡県特別支援学校長協会、福岡県障害者スポーツ協会

ときめきスポーツ大会開催要綱

1 目 的

知的障害児者がスポーツに参加することを通じて、スポーツに親しみ、喜び楽しむとともに、体力の維持・増進を図り、知的障害児者の自立と社会参加、県民の知的障害児者に対する理解促進に寄与し、もって障害者スポーツの普及・振興を目的とする。

2 主 催

福岡県、福岡県教育委員会、(福) 福岡県社会福祉協議会、(公社) 福岡県手をつなぐ育成会、福岡県知的障害者福祉協会、福岡県特別支援学校長協会、福岡県障害者スポーツ協会 (順不同)

3 主 管

(一財) 福岡陸上競技協会、久留米市陸上競技協会、福岡県卓球協会、ふくおか障害者フライングディスク協会 (順不同)

4 後 援 (予定)

福岡県市長会、福岡県町村会、(公財) 福岡県体育協会、(公社) 福岡県医師会、
(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部福岡障害者職業センター、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、産経新聞社、(株) 時事通信社福岡支社、NHK 福岡放送、FM FUKUOKA、RKB毎日放送、FBS福岡放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、
(一社) 共同通信社、TVQ九州放送、(順不同)

5 協 賛 (予定)

福岡フィフティライオンズクラブ、大塚製薬株式会社福岡支店 (順不同)

6 実施競技種目

全国障害者スポーツ大会競技規則に定められた個人競技種目の、陸上競技、フライングディスク競技、卓球競技、ボウリング競技を実施する。

7 参加資格

(1) 参加選手

競技に参加できる選手は、次の全ての条件を満たす者とする。

ア 厚生事務次官通知による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。

イ 毎年4月1日現在、13歳以上の者。

ウ 県内に現住所(住民票のある地)を有する者。または県内の施設や学校等に入所、通所及び通学している者。(ただし、政令市は除く。)

(2) 引率役員

各市町村、育成会、施設、学校等の単位で選手団を編成し、各選手団に適当な引率役員を配置すること。

8 競技規則

競技規則は、競技規則は、(公財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び、この要綱、大会実施要領に準ずるものとする。

9 参加出場種目数

出場種目は一人一種目とする。

ただし、4×100mリレー(陸上競技)については、陸上競技出場者のみ2種目目として出場することができる。

10 参加費用

参加に要する費用は、参加者の負担とする。

11 健康・安全管理

参加選手の健康・安全管理は、選手団及び参加団体において十分に配慮するものとする。主催者は応急処置のみを行うものとする。なお、主催者において傷害保険に一括加入する。

12 順位の決定及び表彰

順位の決定及び表彰は、各競技種目の組別に行う。

13 大会事務局

福岡県障害者スポーツ協会

〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

TEL 092-582-5223 FAX 092-582-5228

14 その他

この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関し必要な事項は、別に定めるものとする。

第36回ときめきスポーツ大会実施要領

1 開催日時

平成28年9月10日(土) 10時00分～17時00分 【雨天決行】

2 実施競技及び会場

【開会式・閉会式】	久留米総合スポーツセンター	陸上競技場
【陸上競技】	久留米総合スポーツセンター	陸上競技場
【フライングディスク競技】	久留米総合スポーツセンター	陸上競技場・補助競技場
【卓球競技】	久留米市みづま総合体育館	
【ボウリング競技】	ユーズボウル久留米	

3 協力(予定)

福岡県立久留米筑水高等学校、久留米信愛女学院短期大学、
福岡リゾート&スポーツ専門学校、八女筑後看護専門学校、国際医療福祉大学、
福岡県立福島高等学校、福岡県立八女工業高等学校、久留米大学、
久留米リハビリテーション学院、(福)学生会児童養護施設白梅学園、
福岡県・ハンディキャップスポーツ・サポートの会 (FHSの会) (順不同)

4 競技運営

(1) 競技・種目・年齢区分

競技・種目・年齢区分は「ときめきスポーツ大会 競技種目及び年齢区分表」(別表1)のとおりとする。

(2) 競技の組み合わせは、大会事務局が競技運営主管団体と協議のうえ決定する。当日の変更及び異議の申し立ては受け付けないものとする。

(3) 競技の組み合わせは、次により行うものとする。

- ア 原則として男女別とする。※ただし、フライングディスク アキュラシー競技は除く
- イ 競技は、競技規則に定める年齢区分及び性別の両方が同一の区分(以下「同一区分」という。)ごとに行うものとする。ただし、同一区分の出場選手が少ない等の理由がある場合は、同一区分以外の者と競技を行うことがある。
- ウ 全国大会出場希望の有無に分けて、競技を行う。

(4) 表彰式

各競技終了後、随時行う。

(5) 競技記録

競技記録及び成績は、会場内の記録掲示板に掲示する。

5 表彰

競技の各組別に3位までの入賞者にメダルを授与する。

6 参加申込み

(1) 申込方法

参加希望者は、参加申込書（個人票）【様式1号】に必要事項を記入し、下記提出先へ参加申込みをすること。

(2) 提出先（以下、「関係機関」という。）

参加申込者		提出先
ア	個人	居住の市町村担当課
イ	市町村育成会会員	当該市町村育成会
ウ	施設入（通）所者	当該施設
エ	特別支援学校在籍生徒	在籍する学校
オ	ウ以外の学校在籍生徒	在籍する学校または市町村担当課

(3) 参加申込書を受付した関係機関は、参加申込書（個人票）【様式1号】を取りまとめるうえ、選手団総括表【様式2号】を添えて大会事務局（以下、「事務局」という。）へ郵送で提出すること。

(4) 申込期限

平成28年6月30日（木）※必着

なお、期限経過後の参加申込及び変更は受け付けないものとする。

(5) 申込先

〒816-0804

福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階 受箱15号

ときめきスポーツ大会事務局

福岡県障害者スポーツ協会 担当 古藤（ことう）

TEL 092-582-5223

7 参加出場選手の決定

大会事務局は、出場希望参加者を選手登録のうえ、大会出場の手は主催者にて決定する。また、大会に必要な事項や資料の送付は、選手団責任者宛てに通知するものとする。

8 番号布（ナンバーカード・ゼッケン）

(1) 登録番号は、選手登録終了後、事務局より選手団責任者へ通知する。

(2) 競技に出場する選手は、競技用の服装に必ず番号布を付けるものとする。

(3) 番号布は、出場選手本人が準備するもの。

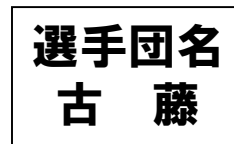
(4) 番号布の規格は、以下のとおりとする。

ア 白の布地 縦15cm × 横25cm

イ 黒色で大きく登録番号若しくは団体名、氏名を記入すること。

【例】陸上・フライングディスク・ボウリング

【例】卓球



9 大会当日の留意点

- (1) 競技場内への入退場は、係員の指示に従うものとする。
- (2) 出場選手の介助等のため競技場内に入場できる者は、予め許可を受けた者に限る。

10 氏名・大会中の写真等個人情報について

大会にあたり、選手の氏名、写真、映像等がテレビ・新聞等で報道されることがあります。大会プログラム及び大会報告書の冊子や協会ホームページ等に、氏名、障害、所属団体名、大会中の写真等を掲載することがありますので、予めご了承ください。参加申込書類が提出された時点で、同意があったものとして取り扱います。

11 全国障害者スポーツ大会への福岡県選手の派遣

今大会の競技記録・成績を参考に、平成29年度第17回全国障害者スポーツ大会「^{えがお}愛顔つなぐえひめ大会」の福岡県派遣選手が、別途開催される福岡県選手選考委員会において選考されます。

12 その他

この実施要領に定めるもののほか、競技運営上に必要な事項は、別途競技ごとに競技別実施要項を定めるものとする。

ときめきスポーツ大会 競技種目及び年齢区分表 (別表1)

◎男女別・年齢区分別 ▲年齢区分なし

競技種目		性別 年齢区分	男子			女子		
			少年 (19歳以下)	青年 (20～35歳)	壮年 (36歳以上)	少年 (19歳以下)	青年 (20～35歳)	壮年 (36歳以上)
陸上競技	トラック	50m	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		100m	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		200m	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		400m	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		800m	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		1500m	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		4×100mリレー	▲ ※2					
	跳躍	走高跳	▲ ※1			▲ ※1		
		立幅跳	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		走幅跳	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	投擲	ソフトボール投	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		ジャベリックスロー	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フライング ディスク競技	ディスリート5	▲ ※1					
ディスリート7		▲ ※1						
ディスタンス		▲ ※1			▲ ※1			
卓球競技	卓球	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
ボウリング競技	ボウリング	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※1 複数の年齢区分にわたり、▲がついている場合は、ひとつの区分として競技を行い、順位を決定する。

※2 男子、女子、男女混合の3つの区分で競技を行い、順位を決定する。

平成 28 年度全国障害者スポーツ大会競技規則改正について

陸上競技において競技規則が一部改正されました。

■ スタートについて

- (1) スタートコールは「イングリッシュコール」とする。「On Your Marks: オン・ユア・マークス」(意味:位置について)「Set: セット」(意味:用意)
- (2) 不正スタート(フライング)は1回目で失格とする。

第 36 回ときめきスポーツ大会競技規則等の改廃について

ときめきスポーツ大会における独自のルールについて、確認事項及び本大会より追加される項目についてお知らせいたします。

1 競技運営について

本大会より、全国大会出場の希望の有無により、競技の組み合わせを行う。それに伴い、全国大会出場希望者については、競技規則に準じて競技を行う。

2 陸上競技について

- (1) スターティング・ブロック及びスパイクシューズの使用を許可する。
- (2) スタートについて
50mについてはスタンディングスタートのみとする。また、その場合、スターティング・ブロックを使用することはできない。100m・200m・400m(4×100mリレーを含む)においてはクラウチングスタートをしなくてもよく、また、スターティング・ブロックを使用しなくてもよい。ただし、スタンディングスタートの場合、スターティング・ブロックを使用することはできない。
- (3) スタートのコールについて
平成 28 年度の全国障害者スポーツ大会よりイングリッシュコールに変更となったが、第 36 回ときめきスポーツ大会ではイングリッシュコールは適用しない。
400mまでの競走(4×100mリレーを含む)においては「位置について」「用意」の言葉を用いる。400mを超える競走においては「位置について」の言葉を用いる。
※ただし、平成 29 年 第 37 回ときめきスポーツ大会より、イングリッシュコールとする。
- (4) 失格について
トラック競技で他の走者を妨害した場合は、その選手は降着(最下位)としていたが、本大会より廃止し、一般競技規則に準じて「失格」とする。また、1 回目のフライングをした選手に関わらず、2 回目のフライングをした選手は降着(最下位)とし、再レースは行わない。としていたが、スタートは1回制とし、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格となる。
- (5) 50m競走について
全国障害者スポーツ大会において50m競走は、初心者や重度障害の知的障害者の参加機会の促進のため、設けられた種目である。そのことを理解のうえ、種目選択するものとする。

(6) 100m競走について

第4曲線（コーナー）と直線との区別がつかず、まっすぐに走れない選手がいるため、設置していたが、コーンを設置することによりレーンの幅が狭くなり、競技の妨げになっていることから廃止する。

(7) 4×100mリレーについて

ア 男女混合4×100mリレーを追加する。（全国障害者スポーツ大会では、男女混合のみ。）

イ バトンは、テイク・オーバー・ゾーン内で受け渡さなければならない。バトンのパスは、受け取る競技者にバトンが触れた時点で始まり、受け取る競技者の手の中に完全にわたり、唯一のバトン保持者となった瞬間に成立する。それは、あくまでもテイク・オーバー・ゾーン内でのバトンの位置のみが決定的なものであり、競技者の身体の位置ではない。競技者がこの規則に従わなかったときは、チームの失格となる。

(8) 走高跳について

バーのスタート時の高さは男女ともに 100cmとする。また、バーの上げ幅は一律2cmとする。

3 フライングディスク競技について

(1) アキュラシー競技の組分けについて

男女別による組分けを廃止し、全国障害者スポーツ大会と同様に、男女混合の組分けとする。

4 卓球競技について

(1) 組分けについて

各組の参加人数等を考慮し、トーナメントまたはリーグ戦によって実施する。

(2) 試合球について

プラスチック製（白色）を使用する。

5 ボウリング競技について

(1) 組分けについて

全国大会出場希望の有無により競技の組分けを行うため、シフト制とする。

(2) シューターの使用について

ア 全国障害者スポーツ大会に出場希望の競技者は、全国障害者スポーツ大会競技規則に準じてシューターの使用を認めない。

イ 全国障害者スポーツ大会に出場希望しない競技者については、手や腕・肩・体幹のコントロールが困難なため、投球時にボールを自力で支えることができない等、身体的理由がある場合は、シューターの使用を認める。ただし、表彰組については、男女同一組とする。

(3) 介助者について

介助者はアプローチゾーンへの立入を禁止する。ただし、全国障害者スポーツ大会出場希望しない競技者については、身体的理由により、アプローチゾーンでの介助が必要な場合は、必ず参加申込書（個人票）【様式1号】の⑫介助者の有無を記入し、申請すること。

お問合せ先

大会事務局 福岡県障害者スポーツ協会

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7号

TEL 092-582-5223 FAX 092-582-5228